

これは、GoogleのAI GeminiのDeepResearchに調査依頼して 2025/3/23に書かせた文章原文です。

その点ご留意の上、お読みくださいませ。

また、一般的に選挙事前運動とは、選挙の告示前に特定の候補者への投票を呼びかけるなど、選挙運動に該当する行為を行うことを指します。今回の調査内容は、特定の候補者への投票を直接的に呼びかけるものではなく、あくまで候補者の政策、実績、政治的信念に関する情報をまとめたものです。したがって、調査内容そのものを客観的に公開するだけであれば、選挙事前運動と断定される可能性は低いと考えられます。

公選法ではメールでの投票呼びかけは禁止ですが、SNSではOKです。

和田裕行氏と田島一成氏の政策、実績、政治的信念に関する分析

1. はじめに

2025年4月に予定されている彦根市長選挙は、彦根市の将来を左右する重要な選挙です。本稿では、現職市長である和田裕行氏と、元衆議院議員である田島一成氏の二人の主要候補者について、その政策、実績、政治的信念を分析します。特に、彦根市が抱える人口減少と高齢化、中心市街地の経済停滞、将来的な財政負担の増大、社会資本ストックの老朽化、空き家・空き地の増加、交通渋滞と公共交通の利便性、地球環境への対応、観光客の誘致と滞在促進、文化遺産の保存と活用といった9つの主要な問題点に焦点を当て、各候補者がこれらの問題にどのように取り組むのか、または関連する政策をどのように提唱しているかを検証します。本稿の目的は、読者が両候補者の資質を深く理解し、自身の政治的考え方との合致度を評価する一助とすることです。最終的には、読者の視点から各候補者の政策全体を100点満点で評価するための材料を提供します。

2. 和田裕行氏(現彦根市長)の分析

● 2.1. 政策と実績(2021年3月以降)

和田裕行氏は2021年5月10日に彦根市長に就任しました¹。就任以来、新型コロナウイルス感染症対策を最優先課題の一つとして掲げ、市民への情報発信やワクチン接種の推進に尽力してきました。パンデミック初期には、市民の不安軽減と感染拡大防止のため、市長自らがメッセージを発信するなど、積極的にコミュニケーションを図りました。感染状況や医療体制に関する情報を迅速に公開することで、市民の安心感醸成に努めたと考えられます。

財政健全化と経済活性化も重要な政策の柱として推進しています。特に、無駄の削減や民間活力の導入を重視し、自主財源の確保を目指しています。税收増に繋がる取り組みとして、企業誘致やふるさと納税の推進などが考えられます。また、税金を使える範囲内で、市民生活に必要なサービスを維持することも目指していると推測されます。和田市長は、中心市街地の活性化を目指し、株式会社四番町スクエアの代表取締役社長に就任

しました。四番町スクエアは、彦根市の中心商店街に位置する商業施設であり、その経営に市長が直接関与することで、地域経済の活性化を図る狙いがあると見られます⁵。さらに、滋賀大学との連携を通じて、地域課題の解決にも取り組んでいます。

文化遺産の保存と観光振興にも力を入れており、彦根城の世界遺産登録に向けた取り組みを継続しています。また、彦根城だけでなく、ひこにゃんを活用した観光PRや、新たな観光資源の開発にも意欲を示しています。関西みらい銀行との連携協定締結は、文化財保護事業への支援や観光振興を目的としており、地域経済の活性化にも繋がる可能性があります。

都市開発とインフラ整備においては、財政状況を考慮しつつ、既存施設の有効活用に重点を置く姿勢が見られます。新図書館の建設計画においては、旧ひこね燦ぱれすの活用を検討するなど、コスト抑制に配慮した方針を示しています。一方で、彦根愛知犬上広域行政組合における廃棄物処理施設の整備など、広域連携によるインフラ整備にも関与しています⁷。

地球環境への対応として、2050年までに彦根市をゼロカーボンシティとすることを宣言しました。これは、長期的な視点での環境保全への取り組みを示すものです。また、環境保全活動にも積極的に関与しています¹⁰。

社会福祉と地域社会の支援にも目を向けており、地域社会の活動支援や高校授業料の実質無償化への賛同など、市民生活に寄り添う姿勢を示しています。

- **2.2. 重要な発言、公約(2021年3月以降)**

2021年の市長選挙では、「リセット」と「復活」をキーワードに掲げました。これは、前市政からの転換と、彦根市の活性化を目指す姿勢を示すものです。特に、新型コロナウイルス対策、財政改革、そして彦根の魅力を再発見し発信する点を強調しました。

新図書館計画に関する発言では、既存資源の「有効活用」を重視する考えを示しています。これは、新たな建設に慎重な姿勢を示し、財政負担を考慮した現実的な路線であると言えます。

四番町スクエアの社長としての発言⁶からは、民間企業のアイデアや発想を積極的に取り入れ、中心市街地の活性化を目指す意欲が窺えます。これは、従来の行政主導型ではなく、民間のノウハウを活用することで、より効果的な地域活性化を図ろうとするものです。

YouTubeライブでの発言では、地方自治体間の連携の重要性や、短期的な人気取りに走らず、長期的な視点での政策運営の必要性を指摘しています。また、司法と政治の専門性の違いについても言及しており、自身の政策判断に対する信念を窺わせます。

納税者保護誓約書への署名は、増税に反対し、財政均衡を目指すという明確な信念を示すものです。これは、市民の税負担軽減を重視する姿勢の表れであり、財政運営における効率化や歳出削減を重視する考えに基づいていると考えられます。

- **2.3. 政治的信念と価値観**

和田裕行氏は現在、地域政党「彦根党」の共同代表を務めています。市長就任前は無所属で活動していました。地域政党の設立は、地域に根差した政治を目指す姿勢の表れと言えるでしょう。

YouTubeライブでの発言からは、実務的かつ現実的な視点を持っていることが伺えます。政治の素人である裁判官が政治判断をすることへの懸念は、行政の現場を経験してきた首長ならではの視点と言えるかもしれません。

納税者保護誓約書への署名¹⁵は、増税に反対し、財政均衡を目指すという明確な信念を示すものです。これは、市民の税負担軽減を重視する姿勢の表れであり、財政運営における効率化や歳出削減を重視する考えに基づいていると考えられます。

- **2.4. 私の考え方の前提との合致度**

和田裕行氏は、増税に反対し、歳出削減を重視する姿勢を明確に示しており、あなたの基本方針と合致しています。また、民間活力の導入や市場原理の活用にも積極的な姿勢が見られ、「小さな政府・行政」を目指す方向性とも一致すると言えるでしょう。国債発行については明示的な言及は見当たりませんが、財政健全化を重視する姿勢から、原則NGという考えに近い可能性があります。補助金・ばらまきについても、無駄の削減を重視する姿勢から否定的な立場であると推測されます。

彦根市の問題点との関連では、中心市街地の経済停滞に対して、自ら株式会社四番町スクエアの社長に就任するなど、積極的に関与しようとしています。将来的な財政負担の増大に対しては、財政健全化を公約に掲げ、歳出削減に取り組む姿勢を示しています。社会資本ストックの老朽化に対しては、既存施設の有効活用を検討するなど、コストを意識した対応を見せています。

一方で、具体的な規制緩和策については、提供された情報からは明確には確認できませんでした。また、人口減少と高齢化に対する直接的な減税策や規制緩和策は見当たりません。

- **2.5. 和田裕行氏の政策全体に対する評価(100点満点)**

あなたの考え方の前提との合致度、特に増税反対、歳出削減、民間活用を重視する点、補助金・ばらまきNGにおいては高い親和性が見られます。中心市街地の活性化や財政健全化への取り組みも評価できます。ただし、規制緩和や人口減少対策における具体的な政策が見えにくい点、国債発行に対する明確なスタンスが不明な点などを考慮すると、**85点**と評価します。

- **表1: 和田裕行氏の政策と実績の概要(2021年3月以降)**

政策分野	説明	彦根市の問題点との関連性	報告された成果・進捗
新型コロナウイルス感染症対策・公衆衛生	市民への情報発信、ワクチン接種推進、医療体制への言及	公衆衛生の維持、経済活動への影響緩和	感染状況に応じた情報提供、ワクチン接種の進捗
財政責任と経済活性化	財政健全化、無駄削減、民間活力導入、四	将来的な財政負担の増大、中心市街地の経済	自主財源確保への努力、中心市街地活性化

	番町スクエア社長就任による中心市街地活性化、大学連携	停滞	への直接的関与
文化遺産と観光	彦根城世界遺産登録推進、観光PRと地域産品振興、関西みらい銀行との連携	観光客の誘致と滞在促進、文化遺産の保存と活用、中心市街地の経済停滞	世界遺産登録に向けた継続的な取り組み、金融機関との連携による支援
都市開発とインフラ	新図書館計画における既存施設活用検討、彦根愛知犬上広域行政組合への参加 ⁷	将来的な財政負担の増大、社会資本ストックの老朽化	財政状況を考慮した施設整備、広域連携による効率的なインフラ整備
環境への取り組み	2050年ゼロカーボンシティ宣言、環境保全活動への参加 ¹⁰	地球環境への対応	長期的な環境目標の設定
社会福祉と地域社会支援	地域社会活動への支援 ¹⁶ 、高校授業料実質無償化への賛同	人口減少と高齢化	地域コミュニティの維持、子育て世代への支援

3. 田島一成氏（元衆議院議員）の分析

- 3.1. 政策と実績（過去5年間）

田島一成氏は、過去5年間において、主に国政の場（衆議院議員、2022年に無所属）で活動してきました。国会議員としての政策関心は、財政問題（歳出削減、国民負担率、増税）、規制緩和、環境問題など多岐にわたります。鳩山内閣と菅内閣では環境副大臣を務めた経験も持っています。

国政レベルでの補助金に関する具体的な政策は、提供された情報からは明確には確認できませんでしたが、関連する議論には参加していたことが示唆されます。民間活力の導入（民間活用）には関心を示しており、国債発行（国債発行）についても議論に参加していましたが、具体的なスタンスは不明です。

過去5年間、地元彦根を含む選挙区で複数回国政選挙に出馬しており（2017年、2021年、2022年）、地域との繋がりを維持しています。そして、2025年の彦根市長選挙への立候補を表明しています。自身のウェブサイトでは、福祉、地方分権、経済、教育、環境、農業、NPOなど、幅広い政策目標を掲げています。これらの多くは、国会議員時代からの主張を引き継ぐものです。

- 3.2. 重要な発言、公約（過去5年間）

近年の選挙での敗北後も、地域への貢献意欲を示唆する発言をしています。2022年の

参議院選挙では、消費税減税による経済回復、人への投資、環境保護などを訴えていました。

自身の政治理念として、行動力、責任感、そして最善の解決策を追求する姿勢を強調しています。これは、現実的な課題解決を目指す考えを示していると言えるでしょう。過去の地方議員(彦根市議会議員、滋賀県議会議員)としての経験も、彦根市政への関与を考える上で重要な要素となります。

- **3.3. 政治的信念と価値観**

田島一成氏は、長らく立憲民主党(およびその前身政党)に所属していましたが、市長選には無所属で立候補しています。これは、党派を超えた幅広い支持を得ようとする戦略かもしれません。

政治理念では、行動力と問題解決能力を重視する姿勢を示しています。これは、具体的な政策を通じて彦根市の課題に取り組む意欲の表れと考えられます。国政における過去の政策スタンス(憲法改正、安全保障、ジェンダー平等など)からは、より進歩的な価値観を持っている可能性が示唆されます。

- **3.4. 私の考え方の前提との合致度**

田島一成氏の過去の国政における発言や政策を見ると、消費税減税による経済回復を訴えるなど、あなたの増税反対の考え方と一部合致する可能性があります。また、規制緩和にも関心を示しており、あなたの基本方針と親和性があると言えます。

しかしながら、歳出削減や小さな政府といった点については、具体的な言及は少ないです。環境副大臣の経験があることから、環境対策には積極的であると考えられますが、それがあなたの提唱する考え方とどのように整合するのかは不明です。国債発行についても、議論に参加していたものの、原則NGというあなたの考えとの一致点は確認できませんでした。補助金・ばらまきについても、明確な反対の姿勢は示されていません。

彦根市の問題点との関連では、中心市街地の経済停滞に対する具体的な政策は不明です。将来的な財政負担の増大に対して、どのような考えを持っているかは明確ではありません。社会資本ストックの老朽化や空き家・空き地の増加、交通渋滞と公共交通の利便性、地球環境への対応、観光客の誘致と滞在促進、文化遺産の保存と活用といった点についても、国政レベルでの関心は示唆されるものの、彦根市政においてどのような具体的な政策を打ち出すかは今後の情報に注目する必要があります。

- **3.5. 田島一成氏の政策全体に対する評価(100点満点)**

増税反対や規制緩和といった点ではあなたの考え方と合致する可能性がありますが、歳出削減、小さな政府、国債発行原則NG、補助金・ばらまきNGといった点では明確な情報が見当たらず、判断が難しいです。過去の国政経験や幅広い政策関心は評価できるものの、あなたの前提との合致度を総合的に考えると、**55点**と評価します。

- **表2: 田島一成氏の政策と活動の概要(過去5年間)**

政策分野/活動	説明(スニペットID)	彦根市の問題点との潜在的関連性	報告された成果・進捗
国政における政策(衆議院議員として)	財政問題(歳出削減、国民負担率、増税)、規制緩和、環境問題(環境副大臣経験含む)	彦根市の財政負担、経済停滞、地球環境への対応に関連	国会議員としての活動実績
地元での選挙活動	過去5年間の国政選挙への複数回出馬、2025年彦根市長選挙への立候補	地域住民との継続的な関わり	選挙結果(落選を含む)
政治理念	行動力、責任感、問題解決志向	彦根市の課題解決への取り組み方	
過去の地方自治体経験	彦根市議会議員、滋賀県議会議員	彦根市政運営への理解	過去の議員としての活動実績

4. 比較概要表

項目	和田裕行	田島一成
実施・提案政策と成果(彦根市の問題点との関連性)	新型コロナ対策、財政健全化(歳出削減、民間活用)、彦根城世界遺産登録推進、ゼロカーボンシティ宣言、既存施設活用型都市開発	国政経験(財政、規制緩和、環境)、過去の地方議員経験、消費税減税を含む経済対策、環境保護重視
重要な発言・公約(彦根市の問題点への言及や対策を含む)	「リセット」「復活」を掲げた2021年市長選公約、既存資源の有効活用、民間活力導入による中心市街地活性化、地方自治体連携の重要性、増税反対	行動力と問題解決を重視する政治理念、過去の国政選挙での経済・環境政策、地元重視の姿勢、消費税減税
政治的信念(彦根市の問題点に対する考え方を含む)	地域政党「彦根党」共同代表、財政均衡と増税反対、実務的・現実	無所属での市長選立候補、行動力と問題解決重視、過去の党派

	的な視点	性(立憲民主党)
私の考え方の前提との合致度 (彦根市の問題点への対応における一致・矛盾点も明記)	増税反対、歳出削減、民間活用を重視する点、補助金・ばらまきNGで合致。減税の可能性についてはYoutubeで言及。規制緩和や人口減少対策は不明確。国債発行へのスタンスは不明。	増税反対、規制緩和の点で合致する可能性。歳出削減、小さな政府、国債発行原則NG、補助金・ばらまきNGは不明確。
総合評価(100点満点)	85点	55点

5. 結論

本稿では、2025年彦根市長選挙の主要候補者である和田裕行氏と田島一成氏の政策、実績、政治的信念について、彦根市の主要な問題点を考慮しながら分析しました。和田氏は現職市長として、新型コロナウイルス対策や財政健全化、観光振興に具体的な取り組みを進めてきました。一方、田島氏は元衆議院議員としての国政経験に加え、過去の地方議員としての経験も持ち合わせており、経済対策や環境問題に強い関心を示しています。

あなたの政治的考え方との合致度においては、和田裕行氏の方がより高い評価となりました。増税反対、歳出削減、民間活用といったあなたの基本方針と和田氏の姿勢が比較的合致しているためです。田島一成氏も一部で共通する点はあるものの、全体的な合致度では和田氏に及ばないという評価になりました。

最終的な投票判断は、本稿の分析を踏まえ、両候補者の政策が彦根市の課題解決にどのように貢献するかという視点と、あなた自身の政治的考え方を照らし合わせて行うことが重要です。

引用文献

1. 市長・副市長プロフィール／彦根市, 3月 23, 2025にアクセス、
https://www.city.hikone.lg.jp/kakuka/shicho_chokkatsu/12/2_1/4414.html
2. 和田裕行とは？ わかりやすく解説 - Weblio, 3月 23, 2025にアクセス、
<https://www.weblio.jp/content/%E5%92%8C%E7%94%B0%E8%A3%95%E8%A1%8C>
3. 和田ひろゆき支援会 - 滋賀県, 3月 23, 2025にアクセス、
<https://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5349083.pdf>
4. 市議が市長公約・政策を問う - 不易流行, 3月 23, 2025にアクセス、
<https://fuekiriyuko.net/articles/-/1249>

5. 6月29日プレスリリース：四番町スクエア 代表取締役社長に和田裕行 彦根市長が就任しました, 3月 23, 2025にアクセス、
https://www.city.hikone.lg.jp/shisei/koho/press_release/10/r4/6/19744.html
6. 市制施行70周年記念式典招待者・実行委員リスト - 草津市, 3月 23, 2025にアクセス、
<https://www.city.kusatsu.shiga.jp/shisei/kaigishingikai/hokoku/naibu/buchoukaigi/kaigi202404.files/2024.07.24hou1-2.pdf>
7. www.city.hikone.lg.jp, 3月 23, 2025にアクセス、
https://www.city.hikone.lg.jp/material/files/group/1/20241209siryo_sasikae.pdf
8. 新ごみ処理施設整備計画(案)彦根愛知犬上広域行政組合 - 豊郷町, 3月 23, 2025にアクセス、
https://www.town.toyosato.shiga.jp/cmsfiles/contents/0000002/2926/sisetuseibik_eikaku.pdf
9. 彦根市長選挙「大久保たかし」結果 - 連合滋賀, 3月 23, 2025にアクセス、
<https://rengo-shiga.jp/houkoku/14400.html>
10. 彦根市長 和田ひろゆき×滋賀2区候補者 うえの賢一郎 コラボトーク - YouTube, 3月 23, 2025にアクセス、
<https://www.youtube.com/watch?v=465brilKNYI>
11. 第26回参議院議員通常選挙候補者・名簿届出政党等情報(選挙公報)(音声読み上げ用) - 滋賀県, 3月 23, 2025にアクセス、
<https://www.pref.shiga.lg.jp/senkyo/kokusei/sanngiin/326035.html>
12. 田島一成後援会 - 滋賀県, 3月 23, 2025にアクセス、
<https://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5345782.pdf>
13. 各政党・国会議員に聞いてみた！奨学金制度に関する考えと行動 - 全国大学生協連, 3月 23, 2025にアクセス、
<https://www.univcoop.or.jp/activity/action/scholarship/index.html>
14. 【2025年2月17日】彦根市長定例会見 - YouTube, 3月 23, 2025にアクセス、
https://www.youtube.com/watch?v=rZZFRuHpY_A
15. 彦根市長選挙に「子供にツケをまわさない！」 - 日本税制改革協議会, 3月 23, 2025にアクセス、
<https://jtr.gr.jp/wpblog/?p=548>
16. 滋賀県彦根市の人口・財政・選挙・議員報酬 - 政治山, 3月 23, 2025にアクセス、
<https://seiji-yama.jp/lgov/25/252026/>